

[報道関係各位] 【2019年4月4日】

ヒロセ電機、独ハーティング社と産業用 IoT 向けシングルペアーイーサネットコネクタの共同開発に合意

ヒロセ電機株式会社（本社：東京、以下：ヒロセ電機）とハーティングテクノロジーグループ（本社：ドイツ・エスベルカンプ、以下：ハーティング）はシングルペアーイーサネット(SPE)対応コネクタの共同開発、標準化、及びその販売の推進について合意しました。

両社は2016年に10ギガビットイーサネット用小型インターフェースコネクタ、ix Industrial™を市場投入しており、ヒロセ電機社長 石井和徳は、以下のように述べています。「今回のシングルペアーイーサネット分野における共同開発は、両社間の提携をより強化するものです。」また、ハーティングのCEO、フィリップ・ハーティング氏は「ix Industrial はリリースからこれまで、多くのユーザーにご採用いただき、4ペアーイーサネットの小型機器において高い評価をいただいています。」と話しています。

シングルペアーイーサネットは、1対のツイストペアケーブルでイーサネット信号を流す伝送技術です。

両社が開発するシングルペアーイーサネットコネクタは、IEEE802.3 BASE-T1の標準規格に採用されました。この規格化をベースに、シングルペアーイーサネットによる新コネクタ技術の普及に向けて、全体の技術を計画的に展開し、エンドツーエンドの一貫したインフラ整備をすることを今回の技術提携の目標にしています。また、ユーザグループの間で技術全体を確立することを目指しています。「嵌合面の標準化をはじめ、周辺部品を総合的に提供することはSPEの普及につながります。」とHARTING Electronicsのマネジングダイレクター ラルフ・クライン氏は述べています。

両社の新たな提携は、信頼性の高いSPEの普及環境を整備し、産業用IoT(IIoT)による輸送、ロボット工学、エネルギーや産業オートメーションなどの進歩に貢献します。

● 会社概要、関連情報**■ ヒロセ電機株式会社について**

ヒロセ電機は、産業機器、自動車、情報通信、医療およびスマートフォンを中心とする民生など各市場向けに幅広いコネクタ製品ラインナップを開発製造する、接続技術における世界のリーディングカンパニーであります。コネクタの小型化技術のみならず、高速化・高信頼性および高電力用途の製品、およびその先進的な生産技術において、80年以上に渡りビジネスを展開してまいりました。ヒロセは全世界で、18ヶ国において、28の販売拠点、8カ所の製造工場、4,500人以上の従業員を有し、2017/18会計年度で1250億円以上の売上高を計上しております。

<https://www.hirose.com/corporate/ja/>

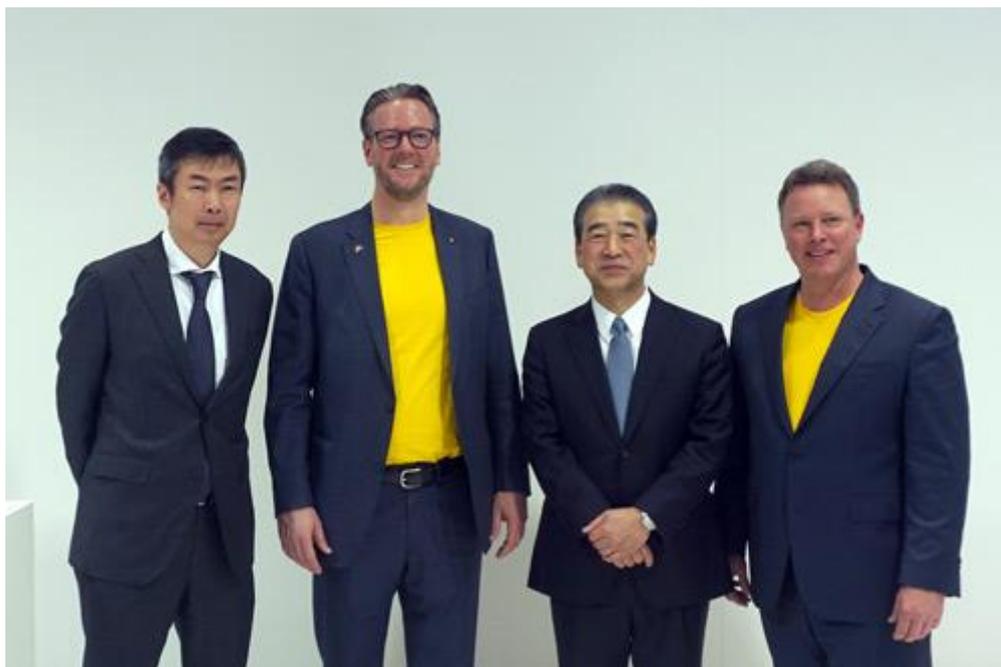
■ ハーティングについて

ハーティングテクノロジーグループは、1945年設立、ドイツ・エスベルカンプに本社を置き、世界に生産拠点14カ所、44の販売子会社を有しています。「データ」、「信号」、「パワー」の3つの産業ライフラインの接続技術のプロバイダとして世界をリードしています。また、小売店用のレジシステム、自動車および産業用の電磁アクチュエータ、EV用充電機器、そしてオートメーション、設備・装置、ロボット、鉄道・輸送向けにハードウェア・ソフトウェアを提供しています。2017/18会計年度の売上は7億6200万ユーロ、従業員は約5,000人です。

<http://www.HARTING.co.jp/>

【報道機関からのお問い合わせ】 ヒロセ電機株式会社 デジタルプロモーション課 課長：山田理絵

hrs.collaboration.9s@hirose-gl.com TEL：045-620-3575



HANNOVER MESSEにて協業を表明：

(左から) ヒロセ電機 海外事業部 事業部長 佐藤博志、ハーティングテクノロジーグループ CEO フィリップ・ハーティング氏、
ヒロセ電機 社長 石井和徳、HARTING Electronics マネジングダイレクター ラルフ・クライン氏

画像データのダウンロード・

http://prd-4s-public.s3.amazonaws.com/upload/corporate/file/harting_hrs_190404.zip

【報道機関からのお問い合わせ】 ヒロセ電機株式会社 デジタルプロモーション課 課長： 山田理絵

hrs.collaboration.9s@hirose-gl.com TEL：045-620-3575